

# 県立多治見病院 緩和ケアチーム通信

発行：県立多治見病院緩和ケアチーム 2018年3月号 vol.84  
文責：西尾 静 編集：櫻田亜矢子

平成 29 年度から緩和ケアチームで活動をしているがん専門看護師の西尾静です。

日々バタバタ、ドタドタと病棟内を行き来する 1 年でした。依頼を受けて外来へ、病棟へと動く中で、緩和ケアって何だろう？と説明をしながら私自身も考える毎日でした。

私たちが減らしたい“苦しみ”とは何？なぜ苦しいと感じるのか？苦しみとは・・・希望と現実のギャップであり、苦しみをやわらげるためには、そのギャップの幅を狭くすることが必要・・・と本にありました。

苦しみのなかにいる患者さんやご家族から発せられる言葉に緩和ケアチームスタッフが耳を傾けることで、時間の意味や大切にしたいご家族との関係性を患者さんやご家族から受け取り、受け取った意味合いを患者さんやご家族に伝え、共有し・・・新たな希望を感じ、つらい現実の中でも、その人らしい希望を持ち、その希望を緩和ケアチームで支援する。

そんな活動が緩和ケアチームで行えていたら・・・行いたいと 1 年の振り返りをして願う今日この頃です。

## 第1回

## 緩和ケア勉強会のお知らせ

日時：4月12日(木) 18:00~19:30

場所：中央診療棟3階講堂

内容：「当院の緩和ケアの今年度からの新体制について」

